

令和7年度 第9回全体庁議（10月31日開催）

| | | | |
|----|-------|--------------|--|
| 区分 | 審議・報告 | 案件名 (担当部) | (8) 上下水道料金等の検証結果及びおびひろ上下水道ビジョンの改訂について[上下水道部] |
|----|-------|--------------|--|

■ 提案・報告の趣旨

上下水道料金等の検証にあたり、令和7年7月29日に帯広市公営企業経営審議会に「今後の上下水道料金及び施設整備のあり方について」を諮問し、9月9日に答申があった。
答申等を踏まえ、検証結果をとりまとめたことから、11月13日の建設委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

上下水道料金等の検証結果

1 今後の施設整備

本市では、これまでも安全かつ強靱な上下水道を目指し、施設・管路の耐震化や老朽管の更新、下水道管渠の長寿命化などの取り組みを進めてきた。しかし、今後も目標耐用年数を超過する老朽管の増加が見込まれるほか、能登半島地震等を踏まえた耐震化などの取り組みを加速化させる必要がある。また、施設の機能が確保されるよう電気・機械設備や計装設備を計画的に更新する必要がある。

このため、今後10年間は令和3年度から令和7年度までの現行料金算定期間よりも事業費を増加させて事業を進めていくこととする。

2 今後の収支見通し

今後の上下水道施設整備の投資計画などを踏まえ、現行の上下水道料金体系を維持した場合における今後10年間の収支見通しを作成したところ、上下水道事業とも当年度純利益、安定的な事業運営を維持できる累積資金残高を確保できる見込みとなった。

3 今後の上下水道料金

次期の上下水道料金算定期間は、「料金の安定性」等や現行の上下水道料金の算定期間が5年間であることを踏まえ、令和8年度から令和12年度までの5年間とする。上下水道事業とも、利益や累積資金残高の必要額を確保することができる見込みであることから、令和8年度から令和12年度までの5年間は、水道料金、下水道使用料ともに現行の料金体系を維持する。なお、令和13年度以降の上下水道料金体系については、今後の収支状況を踏まえ改めて検証する。

おびひろ上下水道ビジョンの改訂

上下水道料金等の検証に伴い、上下水道料金収入見込みや収支見通しなど、関係部分を改訂する。

■ 今後のスケジュール

- ・ 11月13日 建設委員会
- ・ 11月17日 経営審議会
- ・ 12月頃 「おびひろ上下水道ビジョン」の改訂

■ 審議結果

- ・ 同内容で、11月13日の建設委員会へ報告することです承された。

■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし